

平家物語の夕べ

第八回

たかきさき

薪能

1993. 10. 6 (水) 18:00~

17:00より能に親しむ集い

会場 / 高崎観音山・カッパピア第5駐車場
雨天の場合は群馬音楽センター

狂言

悪太郎 (和泉流)

(野村万作・野村武司他)

仕舞

清経・松風・鉄輪 (観世流)

(川原恵三・藤波重清・下平克史)

能

経正 (宝生流)

(本間美幸・占藤乾之助他)

前夜祭

1993. 10. 5 (火) 18:00~

会場 / 高崎観音山・カッパピア第5駐車場
雨天の場合は群馬音楽センター

講演

平家物語

(児玉貴)

笛の演奏

古代笛の調べ 横笛組曲

(上杉紅量・小野さゆり)

鼓前鼓懸

平家物語の世界

(上原まり)



観覧券発売中

前夜祭... ¥3,000

薪能... ¥4,000

セット券... ¥6,500

主催 / 観音山連協協議会

お問合せ / たかきさき薪能事務局 ☎0273-64-0181

プレイカイト / 高崎駅構内観光案内所・高崎文化会館・宇降書房・高島屋・スズラン・慈願院・山徳記念館

平家物語の夕べ

■上原まり

神戸市出身、筑前琵琶・旭会総師範・二世柴田旭堂の一人娘として、幼い頃から琵琶に親しみ、後継者として柴田旭堂という琵琶の名前を持つ。中学三年生で東京新聞主催邦楽コンクール琵琶部門で三位入賞、最年少受賞者である。

幼い頃から五への非凡な才能を持つ彼女は、何時の頃からかステージ女優としてのあこがれを自らの手で現実のものとし、宝塚歌劇団へ入団する。少女時代の彼女自身のこの決断は大きな冒険であり、憧れであり、母の期待への裏切りであり、そして自分が生きているというおのれの人生の現実でもあった。しかし、寛大な母・柴田旭堂はこの娘の判断を彼女の人生のひとつの節目として認め、暖かく見守ってくれた。彼女の宝塚歌劇団入団後の活躍は素晴らしい、アッという間にトップスターの座に上り、かつての大ヒット作「ベルサイユのばら」の王妃マリー・アントワネット役での活躍は史上に残るものである。

その宝塚歌劇団を昭和56年に退団。そして華やかな女優としての再デビューを誰もが想像したが、彼女は新星琵琶奏者としての道を選ぶ。その古典芸能の世界での彼女のデビューは、関係者およびファンに大きな驚きと、それにも増す話題を集めた。その後の彼女の活躍ぶりはめざましく、すべて自身の作曲による「平家物語」シリーズ、「源平女人抄」シリーズなど創作・演奏活動をステージを中心に全国に展開している。

■上杉紅童

中学の頃より雅楽、琴古流尺八を学ぶ。
1960年 国学院大学時代にリコーダーとバロックフルート（トラヴェルソ）の研究を始める。

1967年 西洋古楽器研修のため渡欧、G. シェックにフルート、F. プリュッヘンにリコーダー、K. オッテンにクラムホルンなどを師事する。

1970年 M. フェッター（独）の影響を受けリコーダーの現代奏法を研究。東京文化会館において第1回リサイタル「リコーダーの古典と現代」を開催、現代邦人作品5曲を委嘱初演する。これらの作品はNHK・FMで紹介された。

1972年 第2回リサイタル「笛の甘い音とにがい音」の成果に対し、文化庁より芸術祭優秀賞を受賞。この年の4月より14年間、NHK教育テレビ「ふえはうたう」にレギュラー出演する。

1973～85年 インド、ビルマ、タイ、インドネシア、中国などを数回歴訪し、民族音楽の調査、交流演奏をする。

1976年 文化庁芸術祭ラジオ部門（NHK）に石笛、土笛、横笛で参加した広瀬豊平作曲「天籟地響」が芸術祭優秀賞を受賞。

1986年 朝鮮民主主義人民共和国に招聘され「国際親善芸術祝典」の日本音楽代表団として参加。

1987年 印日協会主催の演奏会に招聘され、インド各地で公演。現在、高崎芸術短期大学教授、NHK学校放送委員、東京リコーダーコンソート代表、東洋音楽学会々員、日本リコーダー協会誌「Ricordo」編集長。

■小野さゆり

祖父宝生流能楽師近藤礼氏に能楽を師事。高校より上杉紅童氏にリコーダーを師事、全日本コンテストで金賞。大学より藤田朝太郎氏に能管を師事。

前夜祭スケジュール

- 18:00 【挨拶】 10分
主催者 橋爪良恒（観音山連絡協議会会長）
- 18:10 【講演】 30分
1. 平家物語 児玉 貴（高崎商工会議所会頭）
- 18:40 【笛の演奏】 30分
1. 古代笛のための祭祀
上杉紅童（高崎芸術短大教授）
1. 石笛と土笛による古代の詩
上杉紅童 小野さゆり
1. 横笛組曲（能管・篠笛）
上杉紅童 小野さゆり
- 19:10 【休憩】 15分
- 19:25 【筑前琵琶】 60分
1. 平家物語 上原まり
- 20:25 【終演】

薪能スケジュール

- 17:00 【演目解説】 40分
有川美亀男（群馬大学名誉教授）
- 17:40 【休憩】 20分
- 18:00 【挨拶・火入れの儀】 30分
主催者 橋爪良恒（観音山連絡協議会会長）
来賓 松浦幸雄（高崎市長）
- 18:30 【狂言】 40分
恵太郎（和泉流）
野村万作 野村武司 野村万之介
- 19:10 【仕舞】 10分
清 経（観世流）川原 恵三 地謡 小 松 浩二
松 風（観世流）藤波重満 “ 大松洋一
鉄 輪（観世流）下平克宏 “ 藤波重彦
- 19:20 【休憩】 15分
- 19:35 【能】 50分
経 正（宝生流）
シテ 本間 英孝 地謡 近藤乾之助
ワキ 村瀬 純 “ 大坪喜美雄
後見 載 俊彦 “ 神主 武二
“ 高橋 右任 “ 渡辺 一郎
笛 一増 幸弘 “ 祝 忠夫
大鼓 柿原 弘和 “ 武田 孝史
小鼓 渡辺 睦弘
- 20:25 【終演】